

農林水産事業からのお知らせ - その96 -

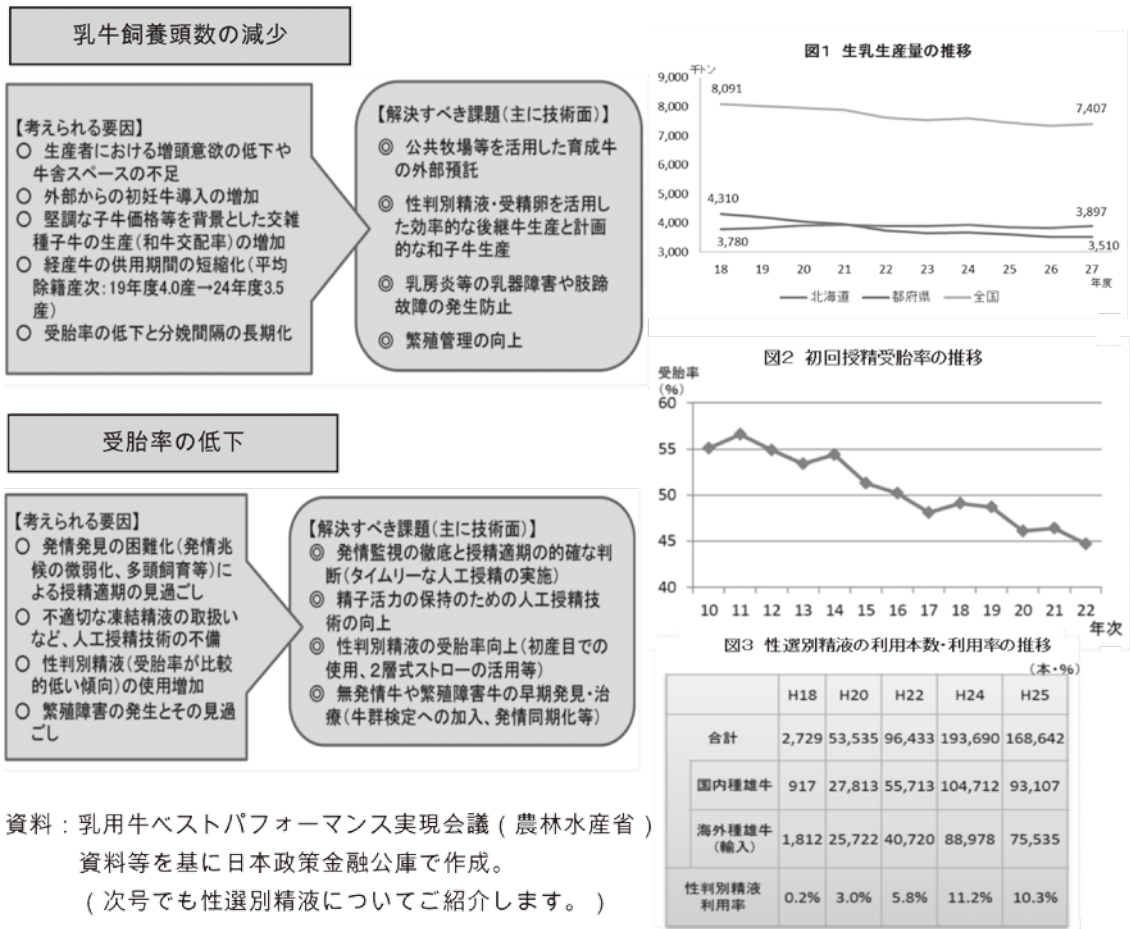
広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC 性選別精液の活用

(一社)家畜改良事業団による性選別精液の初回受胎率が5割を突破しましたので、その概要を紹介いたします。

- ⇒ 生乳生産量は10年間で約68万トン減少しており、受胎率の低下等による乳牛飼養頭数の減少などが原因です(図1、2)。
- ⇒ 受胎率の低下の要因は様々ですが、通常の精液に比べて受胎率が低い性選別精液の使用増加(図3)がその一つと考えられます。



資料：乳用牛ベストパフォーマンス実現会議(農林水産省)資料等を基に日本政策金融公庫で作成。
(次号でも性選別精液についてご紹介します。)

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。
⇒ http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング6階
TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(8月は2日と16日)

庄原相談窓口(8月は3日と17日)

福山相談窓口(8月は18日)

場所:三次農業協同組合本店

場所:庄原農業協同組合本店

場所:日本政策金融公庫福山支店

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。



「追い移植」で妊娠を？

リピートブリーダーの繁殖の救済法として、「追い移植」の有効性が様々な雑誌で取り上げられています。その追い移植の最近の状況を紹介します。

1 追い移植とは？

人工授精を行った後7もしくは8日目に受精卵移植を行う繁殖手段で、リピートブリーダー（生殖器に異常がなく、臨床的な疾患がなく、明瞭な発情周期を示すにもかかわらず、3回以上の人工授精を行っても受胎しない牛）を含む長期不受胎牛に対して以前から通常の繁殖管理の中で行われていました。

表1 追い移植による受胎成績(北海道)

移植期間(年)	実施頭数	受胎頭数(%)
2008～2013	1,310	624(47.6)
2014	1,006	442(43.9)
2015	1,059	502(47.4)

2 追い移植の成果？

表1は、2008～2015年にかけて北海道内でリピートブリーダーを対象に当団の交雑種体外受精卵を利用した追い移植の成績です。年による実施頭数や受胎成績に多少のバラツキはありますが、人工授精で妊娠が成立しなかった牛の約半数に受胎したことがわかります。また、2013～2015年に府県の8団体で行われた追い移植のデータでも、32.2～44.6%の受胎が確認されています(表2)。

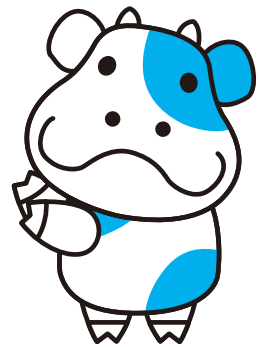


表2 追い移植による受胎成績(府県)

移植期間(年)	実施頭数	受胎頭数(%)
2013	530	231(43.6)
2014	356	166(44.6)
2015	426	137(32.2)

※実施時期や頭数が実施農協により異なり、産歴を問わずに合計した数値で算出

3 追い移植のリスク？

追い移植を行う場合、双子妊娠をする可能性があることを十分に理解しなければなりません。表3には、追い移植による分娩状況を一部の団体において集積したデータを示しましたが、双子率は15～16.7%でした。

人工授精による双子の発生率は、乳用種で分娩全体の0.3～5.3%との報告があることから、人工授精より双子の発生率が高いことがわかります。

この双子生産率を低いと捉えるのか、それとも高いと捉えるのかの解釈は夫々だと思いますが、双子となった場合の分娩事故の発生は想定しなければならない事柄です。分娩予定日が近づいたところで十分な観察をすること、分娩には必ず立会い、子牛の損耗を最小限に抑えることが必要です。

表3 追い移植による産子数

産子の区分	2013	2014
単子	60(83.3)	125(85.0)
双子	12(16.7)	22(15.0)
合計	72	147

■まとめ

表で示したデータは、対象となる雌牛の産歴や空胎期間、飼養環境などが異なりますので、同じ基準で比較することは難しいかも知れません。しかし、「受胎」という観点から追い移植の成果を考えれば、人工授精で受胎しなかった牛の概ね40%以上が受胎していることから、酪農経営に貢献する有効な技術であると言えます。

今回はリピートブリーダーに対する追い移植の成績をご紹介しましたが、妊娠率の向上や空胎日数の短縮に伴う経済効果を考えると、交雑種生産を行う牛には初回授精から追い移植を利用することも検討してみてもは如何でしょうか。

詳細は岡山種雄牛センター(電話 0868-57-2475) 四宮、安積までお問い合わせください。